

僕は遊びに夢中 お母さんは広告に夢中 忘れられない夏休みになりそうだ。



しています!

岐阜市在住 Hさん(30代) :岩野田小校下 : 60坪以上 :土地

雌阜市在住 (さん(30代) : 60~80坪: 土地 : 岩野田地区

山県市在住 Yさん(30代) :高富小学校下 : 60~80坪: 土地

:高富地区バス停近く: 4LDK以上 : 住宅 山県市在住 Tさん(60代)

高富不動産には、『とす·たてもの』をお探しのお客様が多数み えます。上記の【お探しの条件】に見合う不動産をお持ちのお 客様 又は、何らかの理由で早期のご売却をお考えの方は是非 **高富不動産**にご連絡下さい。『我が家の価値は、いくらだろう ?』や『売ったときの稅金は、いくらかかるだろう?』などな んでも相談して下さい(無料です)。きっと、お役に立てると 思います。

高富・岩野田地区 | で、 農地・宅地をお持ちの地主様へ。

当社には、高富・岩野田地区で宅地をお探しの お客様が多数おり、そのため当社では宅地及び、 宅地分譲用地を探しております。

ご所有の農地など、有効に資産活用を考えられては いかがでしょうか? 税金・手取額の計算など含め お気軽にご相談下さい。

土地情報









◆ 地元だから知っている事・できる事。それがきっと、高富万動産らしさです ◆

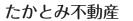
岐阜県山県市高富1088-3

e-mail fudousan@takatomi.ip



TEL(0581)22-1911

♪ どんどん見てね (^ ^)



検索

facebook

他にもたくさんお薦め物件公開中



賃貸情報









"1960年

たかどみの夏の一夜



国道256号線がなかった頃、高富小学校の南の道を西にたどると、天王通りに付き当たった。 今の高山ラーメンの辺りに、石屋さん、キッサアイレスさんが在り、右手に県事務所、左には 旧高富役場後を農協が使用していた。

少し進むと、右手に炭屋さん、子供の駄菓子も売っていた。

夏にはかき氷、冬にはお好み焼きを5円ぐらいから売っていた。

その向かい側は、獣医さんが在り、農耕馬の蹄鉄替えの爪の焼ける臭いが懐かしい。 道路は未舗装で土埃が舞う暑い日や、夕立後の土の匂いも今となっては忘れてしまっている。 その先の右手が須佐之男神社の境内、左側が赤門と呼ばれていた広場が子供たちの遊び場と なっていた。通りに出る手前に鳥鶴さん、マルモ商店(八百屋)が並び、天王通りに顔をだす。 突き当りに堀宗という食堂があり、ウインドウに飾られた真っ赤なケチャップがドデンと乗った トンカツを眺め、ヨダレを乗らしたものの、一度も口にすることはできなかった。

隣に時計屋さん、佐賀に抜ける道を挟んで、片桐商店という味噌、タマリ、塩を売る店が在り、 味噌を造る麹の匂いは今はもう嗅ぐことはできない。

天王通りは北は石田川、戸羽川の合流点の甘酒屋さんから始まり、

粟野の手前の橋本屋 (八百屋) まで北から南へ一直線の繁華街。

今でいうモレラやカラフルタウンの原型がそこにあった。

赤門の広場に仮設のやぐらが建てられ、四方向の杉・檜の大木に向かって盆提灯がぶら下がる 夕暮れ時、すり減ったレコードの「炭坑節」がこれから始まる宵の宴の華やかさに、子供心にも ソワソワとした気分を盛り上げていた。

「かわさき」「花笠音頭」「炭坑節」の定番から一重の輪が二重になり、踊りの輪を囲むようにまた人の輪ができる。

主役は青年団のお兄さん、お姉さんたち。粋な揃いの浴衣にタスキがけ、今日の為に 踊りの練習を重ねた成果を披露する。

このころから「春駒」「やっちく」等、郡上踊りのテンポの速さにいつか輪の中心は青年団や 踊り好きの大人で締められる。

丸盛パイルの女工さん達も大勢参加していた。

九州地方から金の卵と重宝がられ、佐賀の寮に住まっていた。

盆休みだからといって、郷里にに帰る金も手段すら無かったのだろう。

郷里に残した父母や弟妹への仕送りだけが、元気で働いている証であったのであろう。

"月が出た出た、月が出た三池炭坑の上に出た…"

高富の神社の月を眺めながら、遠く遠く離れたふる里のことを思い出していたのでは…。

子供たちは青年団の若者達の顔を全て見知っていた。

踊りの観客の父母や老人達全ての顔も見知っていた。

いつか、自分も輪の中心で盆踊りを舞う未来が必ず来ると思っていた。

子供達はそう思い、見よう見まねでたかどみの夏の夜の輪の中にいた。